

民主主義の名の下で民主主義を蹂躪

 産経新聞出版
〒100-8077
東京都千代田区大手町1-7-2
TEL: 03-3242-9930
FAX: 03-3242-0573
<http://www.sankei-books.co.jp>
◆ 定価1,575円(税込)

クリスト教を抜きにして主導の米歐米國際政治は語れぬ

早稻田大學准教授
岡田俊之輔

クリスト教の耐久力

「価値観を共有」は本當か

以上と同じやうな問題意識の下に書かれたクリスト教入門書を、ここ最近ちらほら目にするやうになつた。橋爪大三郎と大澤眞幸の共著『ふしぎなキリスト教』（講談社現代新書）もその一つである。大澤の質問に橋爪が答へるといふ對談形式の本書は今や三十萬部のベストセラーらしいが、インターネット上では既に著者たちの（特にプロテスタントである筈の橋爪の）基本的事實に関する數多の誤謬と偏見が嚴しい批判に晒されてをり、今後はそれと併せて讀む事が必要とならう。但し「まへがき」で大澤が述べてゐる次の事は間違つてゐない。 《西洋とは、結局、キリ	スト教型の文明である。つまり、西洋は、世俗化してもなほかつどこかキリスト教に根を持つてゐることが大きく効いてゐるやうな社會である。》 《いまある程度近代化した社會の中で、近代の根っこにあるキリスト教を「わかつてゐない度合ひ」といふのをもしIQのやうな指數で調べることでできたとしたら、おそらく日本がトップになるだらう。それは日本人が特に頭が悪いといふことを意味してゐるわけではない。さうではなくて、日本があまりにもキリスト教とは關係のない文化的傳統の中にあつたことがその原因である。》 これだけ世の中が進歩したのだから、何も今更	識人の考へ方であらう。例へば橋本治は言ふに「宗教とは近代合理主義が登場する以前のイデオロギーである。だから 「價值觀を 無論、わかつてゐるのは知識人だけでなくその點は政治家も斷斷ある。日本の歴代首相米國大統領との共同記者会見の場で、「日米間には自由と民主主義といふ共通の價值の上に築かれ」云々といった類ひの聲明を度々發表して來が、果して兩國はそのうな價值觀を本當に共にしてゐるか。アメリカ共同歩調を取るための種々の政治的方便としてべるのならまだしも、氣でさう思ひ込んで
---	---	---

近代合理主義が登場した段階で、宗教の生命は終はるのだ」『宗教なんかこほくない!』ちくま文庫)。これなどは正に「わかつてゐない度合ひ」の違ひなのだ。

最高指数を示す發言と言つてよい。事はさう單純な話ではないのだ。何故著『キリスト教の眞實

なす。近代合理主義が登場し「て世の中が幾ら「世俗化してもなほかつどこかキリスト教に根を持つてゐることが大きく効いてゐるやうな社會」、それが正しく西洋といふものだからである。キリスト教の耐久力をゆめゆめ見繼つてはならぬ。

——西洋近代をもたらし「た宗教思想」（ちくま新書）で指摘してゐるやうに、「近代理念である『民主主義』や『自由』や『政教分離』などの概念」は「ヨーロッパといふ特殊社會におけるキリスト教と世俗の権力とのぶつかり合ひとすり合は

の實、さして深い考へも無しに）言擧げした者が結構多いのではあるまいか。だが、單に同種の政治體制を採るといふ事と、その「根つこにある」價值觀を共有するといふ事とは凡そ別物であつて、クリスト教國の大統領バラク・オバマにとつての「自由と民主主義」と、「キリスト教」とは關係のない文化的傳統の中に「生れ育つた吾國の首相野田佳彦にとつての「自由と民主主義」とは、それが己れにとつて如何

なのであつて、「キリスト教がなければ、『普遍的理念に向かつて、平等な個人が自由意思で連帶して進む』などといふ特殊な考へ方が生まれる確率はきはめて少なかつたらう」。詰り、歐米の自由・民主主義は一朝一夕に出来たものではなく、夏目漱石の講演「現代日本の開化」に出て来る言葉を藉りれば、しかく「内發的」な葛藤・熟成の末に漸く産み出されたものに他ならないが、一方、吾々にとつて

それは飽く迄も「外發
な借物、文明開化に
つて西歐から採り入れ
、いやそれ以上に大東
戦争敗戦後に戦勝國ア
リ力から與へられた、
は體に合ふかどうかも
しい借着に過ぎないの
ある。

容する事は恐らく出来ぬ
であらう。早い話が、私
は人間が皆平等ななどと
は更々思つてゐないし、
民主主義なんぞ要するに
「馬鹿も一票、癩口も一
票」といふ惡平等の缺陷
制度でしかなく、斯くも
眞面目に世の中の事を考

「我が國は、基本的人
や民主主義といった普
的價值を重視した外交
行つてきてゐる」とは、
務省のウェップ・サイ
に載つてゐる如何にも
僚的な文言だが、昨今
者たちは民主主義を語
て「普遍的價值」とい
事をいとも輕々しく口
へてゐるこの私と、六本
木や澁谷の繁華街で夜な
夜な遊び呆けてゐる低能
の若造と同じ一票しか
投じられぬとは、何とも
はやこの上なき不條理で
はないか、世間では参院
選に於ける「票の格差」
とやらが問題になつてゐ
るけれど、そんな事はど

「自由も民主主義も元はヨーロッパといふ特殊社會」の内部に生じた「特殊な考へ方」だた譯であり、それが普遍的價值へと轉ずるためには何よりも先づリスト教的普遍主義に徹底的な鍛煉を要し、が、さういふ精神的煉を経た事の無い文化の人間には、「平等な人が自由意思で連帶し進む」と聞かされたところで、抑も各個人が何平等と言へるのか、それが心底實感して受ていふくらゐに逆格差を附けて然るべきではないのか……と、敢へて傲慢な口を利いてみたが、この程度の「傲慢」ですら、吾國既存の如何なる權威を以てしても、さう簡單には叩き潰せまい。然るに、眞の民主主義や平等主義を成り立たせるためには、この手の小生意氣には固より、例へばドストエフスキの小説『罪と罰』の主人公、自分は非凡人なるがゆゑに「蟲の如き金貨の老婆を殺しても赦されるとて殺人を

世界で一番高い評価と、
世界で一番低い自己評価
—データの語る歪な日本

教育随想

日本は今、世界で一番高い評価を受けてゐる。英国のBBC放送が世界の22ヶ国と毎年共同で行つてゐる世論調査の最新版（2012）によれば、世界に最も「良い影響」を与へてゐると評価された国は日本だつた（五月十一日付読売新聞）。

これを更に、日本に対する各国別の評価で見ると、面白いことが

が日本を高く評価する中で、日本は「悪い影響」を与へてゐるといふ回答の方が多い国が二国だけあつた。中国（良い影響16%・悪い影響63%）と韓国（良い影響38%・悪い影響58%）である。我々の常識とも合致する結果だが、逆に云へば中韓を除く世界中から日本は高い評価を得てゐる。と答へた国民の割合が、自国評価では81%と高いのに、世界評価は41%に過ぎない。韓国も同様で、自国評価は76%と高いのに、世界評価は半分以下の32%だ。かういふのを何と云ふかご存知だらうか。「夜郎自大」と云ふのである。程度の差はあれ、他の国も同様だ。主観的評価は甘くなるが、客観的評価は厳しい。これが世界の常識である。

い影響」を与へてゐると答へた国民の割合が最も高かつたのは二シユール(80%)、二位はインドネシア(77%)、三位はアメリカ(74%)だつた。この平均点(但し日本を除く)が、日本は一番高かつたのである(58%)。

グラフを見ると一目瞭然なのだが、圧倒的に多くの国(20カ国)といふことだ。

更に面白いデータがある。各国の自国評価(主観的評価)と、世界評価(世界から見たその国の客観的評価)を比較すると、日本以外の凡ての国は、自国評価が世界評価を大幅に上回つてゐる。例へば中国は、世界に「良い影響」を与へてゐる

較では、日本が最低だつた。つまり、日本は世界で一番評価の高い国なのに、自己評価は一番低い国なのだ。かういふのを何と云ふかご存知か。「自虐的」と云ふのである。

日本人よ、もつと誇りを持って、と言ひたい。

(勝)

教育随想

借着は所詮借着

借着は所詮借着

カトリックの歴史哲學者
ソンは『教養と無秩序』
という著作で有名な十九
世紀英國の文人マシュー
・アーノルドを始めとす
る人文主義者（ヒューマ
ニズム）の代表者である。

なぜ日本の教育は間違っているのか

～復興のための教育学～

森口 朗 著

◆定価 777円

ゆとり教育の失敗、小1プロブレム、フィンランド幻想など、教育界に横たわる問題点を論じつつ、「真の教育改革」を説く。併せて「大阪維新の会」の理念も解説。

扶桑社

〒104-0045 東京都港区海岸 1-15-1

TEL : 0120-29-9625

<http://www.fusosya.co.jp>

歴史からの伝言

“いま”をつくった
日本近代史の思想と行動

東日本大震災、沖縄問題、戦争責任、TPP…そして、昭和天皇、原敬、
平沼騏一郎…。日本近現代史を鋭く読み解くスリリングな鼎談集。

著 著 著

加藤陽子
佐藤 優
福田和也

扶桑社

〒104-0045
東京都港区海岸 1-15-1
TEL : 0120-29-9625
<http://www.fusosya.co.jp>

◆定価 756円

野田内閣の改造で、森が威張り散ら
本敏拓殖大学大学院教授
が防衛大臣に就任したこ
とに対して一部から批判
が出ている。石破茂元防
衛相は「政治家でない以
上、軍事的な出来事に政
治的責任はとれない」と
また鳩山由紀夫元首相も
「ミサイルのスイッチを
入れる権限を有する方が
選挙の洗礼を経ない方で
よいのか。相当厳しい国
りだ。

民の批判を受けるのではないかと心配してゐる」と、眉を蹙めてみせる。ここで問題になつてゐるのは文民統制（シビリアン・コントロール）の原則だらう。わが国では長年「内局の制服組に対する優位」といふ解釈が罷り通り、背広組（内局）とされてゐるわけだが、

防衛大臣の資格・資質・覚悟

内閣総裁して決断する際、適切な助言を行ふことにあつた。「素人の政治家」としての「資格」に問題はない。石破氏は、今後国会で素人相手のクイズのやうな質問ができなくなるのだから、党との連立に問題があつたといふ。決死の覚悟が求められる。

（菊）

いよいよ大飯原発は再稼働の模様だ。その理由は、安全性の共通認識は得られたとして、電力需給改善のためである。反対してゐた側に不安は残る。差し迫つた現実が押切つたのである。使用済み核燃料の処理問題は未解決であり、高速増殖爐「もんじゅ」も見通しが立つてゐない。限定的な「安全性」は一時的な方便に過ぎない。「電力需給」は、現在の経済活動、國民生活の維持が基準。何故維持するのかが自明として誰も疑問に思はない。

この議論は、原状を維持する電氣の「量」に関する現象論に過ぎず本質的ではない。單に右か左

かの二元論で短絡的だ。世界で唯一の被爆國である日本、放射能の怖さは身に沁みてゐる。原発の分布状況、島國と言ふ地理的特性は、原発事故により日本全體が汚染される危険性を孕む。更にテロの危険性もある。

原発

かういつた日本の宿命・特性を考へれば、迷はず脱原発である。

今回の再稼働。現實問題もあり、脱原発への二時的處置として、評價はできる。

しかし、原子力委員會の祕密會議を見る限り、

原発再稼働の是非

かり続く。

現實問題と安全に對する不安が對立する困難な局面では本質をしつかり見極め、妥協點を見出し目標に向つていく必要がある。このやうな二元論、日本人は不得手である。

再稼動問題の本質といるのは將來の日本を背

の象徴と捉へてゐる。原發事故は、理念のない近代化の限界を示した。

戦後の經濟至上主義も拍車をかけ、企業も國民も果てしなく電力を使用し、そのつけが來た。

一番大きなつけが來て

困難な問題であるが避けてはならない。

國民も企業も我慢と覺悟が必要だ。日本は世界に賞讃された我慢強さ、規律正しい國民性などの文化的長所を持つてゐる。問題の先送りは、もはや許されない。

(村永次郎)

一時的處置は言葉だけの逃げに過ぎないのは明らかで、體質は全く變はつてゐない。

エネルギー政策の全體は、致命的な危険への對策は先送りされるのは明白だ。現象論に終始するため小手先の誤魔化しば

は、日本人としての生き負ふ子供達だ。特に、精神面の脆弱性である。

今後は停滯を餘儀なくされるだらうが「停滯」こそ近代化問題解決の道筋をつける、天から與へられた事態である。

脱「原發」を基本として日本人としての生き方、日本の理念を明確にし、日本・日本人を再生すべき機會と捉へるべきだ。

もう聞き飽きてゐるだらうか、歴史觀の對立に。つまらなかつた。

南京大虐殺があつたのか、あの戦争は侵略なのか解放なのか、もういい加減にしてくれといふ聲をよく聞く。名古屋市の河村市長の發言をめぐつて議論が

を聞かされたやうで實に様様な左右の對立は、議論で決着をつけるのではなく時間をかけるしかない。百年といふ單位で考へてみて、日本はどうかといふ視點の

だつたのかといふ視點の、みが有効だといふのだ。

講演の直前に書かれた産里を感じる。大衆といふ主張の持ち主に、産里は何かを感じる。經新聞「正論」にもかうよいのなら、そもそも外交史を研究する必要もない。何かを學ぼうとするから歴史を研究したはずだ。その結果として「歴史觀の対立の相對化」をてゐる夢殿の救世觀音を學んだといふのなら、今未だ拜觀してゐなかつた。この講演を聞く前に久しぶりに法隆寺を訪ねた。春と秋とに公開され、春と秋とに公開され、張感が高まる。そんな中、隋の皇帝煬帝は高句麗を攻め、諸國を威壓した。朝鮮半島は三分され、緊太后は支那の佛教學者が驚くほどの經典研究をな

「目糞鼻糞を笑ふ」といふ言葉があるが、經濟論壇も御多分に漏れなない。いや、經濟問題の背後にあるイデオロギーの存在を自覺しない論者が多いだけに、己が缺點に氣づかず他人の同じ缺點をあざ笑ふ滑稽な主張

じことを言つてゐる自覺がないのは間違ひない。なぜなら同じ本の中で、不況克服のため百兆圓程度の「復興國債の日銀直接引受」をやれと強く主張してゐるからである。

日銀が國債を大量に引き受けることができるの

歴史を語れぬ人の顔

したことはなかつた。こゝに信頼してゐる。今回の原稿なり深刻な問題を孕んでゐる、さういふ氣がしてゐる。だが、今では端々意見を言

には、歴史觀の對立を相
對化し、歴史から學ぶこ
とが必要である。」と。
まさに相對主義者の歴
語らずにゐるのが正しい

を寫したと
躊躇しなかつた。かうし
た行動は、太子が明確な
時代認識を持つてゐたか
らである。その時の剛毅
果敢な顔は、きつと救世

上念司は『「日本經濟タメ論」のウソ』（イースト・プレス）でかう述べる。「いまの団塊の世代の連中の多くは昔、左翼

は、日銀が事実上の國營銀行で、通貨を無からいくらでも作り出せるからである。上念は日本航空

右も左も國家主義

先日ある會合で學藝者になつた。TFFに
院大學教授の井上寿一氏
の話を聞いた。九十十分
ほどの話であつたが、何だ
か近代日本文外交史の概要
が分つてしまつた。氏はその

史論である。しかし、聲身の處し方である。を大にして言ひたいが、そもそも憲法は今のまにかういふ歴史觀から新しい日本が生まれることなまで良い、大東亞戰爭があつても戦前と戦後の日『隠された十字架』では金輪際ない。大いに憤本は連續してゐるなどないが、この不氣味さに見えるはずはない。(星

運動をやっていたような連中ですから、もともと国営化が大好きです」。上念が右翼かどうか知らないが、自分も左翼と同

の實業國營化を左翼的發想とあざ笑ふが、もしきうなら、「經濟の血液」である通貨の發行を國家が獨占することはそれ以

保守系メディアによく登場する經濟學者の丹羽春喜は、國債の日銀直接引受を一步進めた「政府貨幣」の發行を提言する。マルクスでさへ政府と中央銀行はいちおう別組織と考へたのに、丹羽は政府が直接通貨を發行せよ、合に比べ通貨の値打ちは

中央銀行の知的傳統が存
在したためである。さす
がに現在米國で中銀廢止
論はごく少數派だが、さ
うした發想そのものが皆
無に等しく、右も左も國
家主義のイデオロギーに
盲いた日本に比べれば、
まだ健全といへる。

(騎士)